

第63回山形県冬季ロードレース大会 新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル

■大会開催の留意点

1. ロードレース開催地の山形市から大会開催が認められ、コースを通過する上山市に対しても大会開催の周知がされていること。
2. 緊急事態宣言・まん延防止等重点措置等において課される行動制限下における大会開催について政府の方針、開催地自治体等の方針に沿った開催を検討すること。開催にあたっては、開催地の自治体等と感染防止に関する諸事項について十分に協議した上で、政府や開催地の自治体等から示された条件等を踏まえ、感染リスクをできる限り軽減させる策を講じること。
3. 感染疑い者が発生した場合の対応について医師や保健師に相談をしておくこと。
4. 競技会に関わる全ての人は日頃より体調管理・検温を実施すること。
5. 感染予防対策として、大会主催者は、基本的な感染防止策(マスクの着用、手洗い、三密の回避)を徹底すること。

■新型コロナウイルス感染症予防の基本指針

1. 氏名、連絡先、健康状態を記入した体調管理チェックシートの提出
2. マスクの持参、着用
3. 検温の実施
4. 手指の消毒
5. 3密(密閉、密集、密接)の回避

■新型コロナウイルス感染症対策室の設置

1. 大会における新型コロナウイルス感染症対策室を山形新聞社総務局に設置する。
2. 本大会における新型コロナウイルス感染症対策責任者を置く。

新型コロナウイルス感染症対策室	
感染症対策責任者	大会実行委員長 大友洋志 (山形新聞社取締役販売局長)
事務局	山形新聞社総務局 TEL:023(622)5272

■感染症発生時の対応

1. 大会終了後の1週間(2月5日まで)を健康観察期間とし、競技者本人、大会関係者 がその間に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、原則として本人が対策室事務局＝023(622)5272＝に速やかに報告する。
2. 感染者が出た場合、山形県(山形市内での発生は市)の保健衛生部局に連絡し、指示に従う。
3. 対策室は、山形市保健所と連携しながら、感染に関する公表内容を決定する。その際、感染者が不当な差別や偏見にさらされないよう個人情報の保護に留意する。

■大会当日の感染予防策

1. マスク着用の徹底

- ①大会に帯同する競技役員、スタッフ、山形県警察の職員、医師、警備員、審判員、自主交通整理員、車両ドライバー、報道関係者、チームスタッフなど全ての大会関係者にマスクの常時着用を義務付ける。
- ②競技者は競技中以外のマスク着用を義務付ける。着用していない競技者には注意を促す。
- ③競技者と接触する受付スタッフはフェイスシールドや手袋を着用する。

2. フィジカルディスタンスの確保

- ①競技以外の場では、可能な限り他人との距離を確保し、必要以上の会話は避ける。
- ②書類の受け渡し等対面でやり取りが必要な場合は密集・密接に留意する。

3. 手指の消毒場所の確保

スタート、ゴールでの競技者の待機所やスタッフが滞留する箇所には可能な限り消毒液を用意する。

4. ごみの処理

飲み残しの飲料、食べ残しの弁当、使用後のティッシュ等のごみは自己の責任で処理する。原則、持ち帰りとする。

5. その他

各待機所で使用したいすや机はこまめに消毒する。

■ 競技者とチームスタッフの対応

1. 体調管理チェックシートの管理・提出

① 競技者と各チームのスタッフは大会1週間前(1月22日)から体調管理と検温を実施し、主催者が定めるチェックシートに記入し大会当日に主催者に提出する。

② チェックシートを提出しない競技者の出場は認めない。

2. 体調異常者が出た場合の対応

① 競技者、スタッフは大会当日の朝に検温を行う。発熱等の異常があった場合は、大会救護スタッフの医師に相談する。

② 競技中、体調に異変を訴える競技者が出た場合、その場で検温し、大会救護スタッフの医師に相談する。

3. 競技中の注意事項

① 競技中につばや痰を吐くことは慎む。

② 競技者収容バスを使用する場合は、窓を定期的にかけるなど換気を行う。

③ 使用したマスクは自己責任で処理(原則持ち帰り)する。

4. 大会終了後

競技者とチームスタッフは、大会後2週間(2月12日まで)は体調管理、検温を実施する。もし体調不良など医療機関に相談・受診が必要ある場合は、対策室事務局＝023(622)5272＝に速やかに報告する。

■ 大会関係者の対応

1. 主催者は、関係者から感染予防を目的とする健康管理の個人情報を取得する際、必ず同意を取る。

2. 大会にたずさわる関係者、その他の審判員、自主交通整理らは、大会1週間前(1月22日)から体調と検温を体調管理チェックシートに記入し、大会当日に主催者に提出する。

3. 感染が判明した者は、対策室事務局＝023(622)5272＝に速やかに報告する。

4. 体調に異常がある場合は大会参加を辞退する。

5. 大会参加中は常時マスクを着用し、終了後は自己責任で処理(原則持ち帰り)する。
6. 大会車両に乗車する場合は3密を避け、車両の消毒を徹底するなど感染症予防対策に十分配慮する。

■観戦者の対応

大会主催者は大会前から、県民に対して応援の注意事項を呼びかける広報を山形新聞および山形放送のテレビ・ラジオで行い、大会中は広報車から同様の注意を呼びかける。大会当日、沿道にいる方々に対しては、スタッフや近くにいる警備員、自主交通整理員が状況に応じてマスクの着用をお願いし、大声での応援を控えること、フィジカルディスタンスを確保することなどを呼びかける。また、事務所や自宅などに帰ったら必ず手洗いを徹底することを呼びかける。競技者・スタッフの関係者は、応援のため沿道に出でコース上を移動したりすることを厳に慎む。

■レースの管理

1. スタート地点付近は競技者、大会関係者以外原則立ち入りを禁止とする。
2. ゴール後 倒れこんだ競技者のケアは主催者が委嘱した医師、看護師が対応する。

■医療体制

1. 大会救護スタッフの医師、看護師がゴール地点に待機する。異変がある際は、随行している救護員が医師の指示に従って対処し、緊急時は速やかに救急車を手配する。
2. 感染発生に備えて医療用個人防護具(フェイスシールド、エプロン、手袋、マスクなど)を事前に準備する。